



## 護衛艦「むらさめ」の特別公開に志願者を引率

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、8月4日（金）から6日（日）の3日間、清水港日の出埠頭（静岡市市）において海上自衛隊第1護衛隊（横須賀基地）に所属する護衛艦「むらさめ」と協力し、自衛官を志望する若者に対する特別公開を実施した。

これは、8月5日（土）と6日（日）に開催される「第70回清水みなと祭り」に併せ、静岡地本が自衛隊に興味のある若者に対し海上自衛隊への認識と理解を深めてもらうために実施したもの。3日間で812人の生徒及び学生などが参加した。

当日は天候に恵まれ、参加者は艦内の食堂で艦の概要説明を受けた後、幹部自衛官志望者、パイロット志望者、女性自衛官志望者、その他種目の4組に分かれ、それぞれの立場で働いている海上自衛官から仕事の魅力ややりがい、職場環境などについて話を聞いた。

その後、乗員の居住区や操縦を行う艦橋など普段見ることのできない艦内や、飛行甲板に搭載された哨戒ヘリコプター「SH-60K」を見学したほか、ロープの結び方を学ぶロープワークなどを体験した。

参加者は「今まで以上に海上自衛隊や護衛艦での勤務について知ることができた有意義な機会だった。受験意欲が更に高まり、早く海上自衛官になって艦上で勤務してみたい」と目を輝かせながら話していた。

静岡地本は、今後も艦艇公開などあらゆる機会を活用した積極的な募集広報に努め、将来を担う優秀な若者の獲得に全力を尽くす。



## 「清水みなと祭り」で自衛隊をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、8月5日（土）と6日（日）の2日間、清水港日の出埠頭（静岡市）で開催された「第70回清水みなと祭り」において広報活動を実施した。

「清水みなと祭り」は今年で節目となる第70回を迎え、自衛隊からは14年振りに航空自衛隊のブルーインパルスの飛行展示が実施されたほか、海上自衛隊の護衛艦「むらさめ」の艦艇公開、陸上・航空自衛隊の車両や装備品の展示、航空自衛隊中部航空音楽隊（浜松基地）による演奏、T-4・T-7による飛行展示、静岡・山梨・長野の3地本と海上自衛隊横須賀地方総監部募集等支援班の広報ブース開設などを行った。

普段見ることのできない陸海空自衛隊が清水港に揃い踏みし、天候にも恵まれたこともあり会場は朝早くから多くの観客で賑わい、2日間で9万人もの来場者が訪れた。

6日（日）には、中部航空音楽隊が岸壁で演奏を行い来場者の気分を盛り上げる中、ブルーインパルス6機が護衛艦の上空をスモークを出しながら颯爽と飛行し、会場全体を魅了した。

また、自衛隊の広報として声優の中村桜さんが護衛艦「むらさめ」の一日艦長を務め、艦上で就任式や来艦者の出迎えなどを行ったほか、地元FMラジオ「自衛TIMES★静岡」の収録やゆるキャラグランプリに参戦中の静岡地本マスコミキャラクター「しずぼん」のPRに一役買っていた。

静岡地本は、今後もこのような地元で行われる大規模なイベントに創意工夫を凝らして積極的に参加し、自衛隊への興味や関心を更に高めるよう努めていく。

